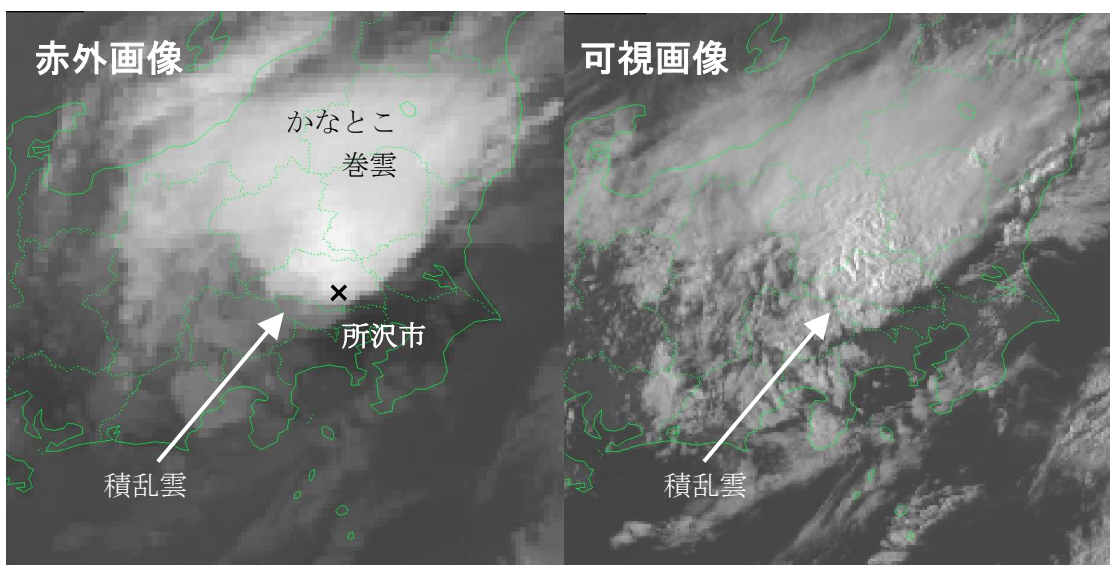


今月の気象衛星画像 (2006年5月)



赤外画像及び可視画像 (2006年5月20日16時)

関東地方で急激に発達した積乱雲

5月20日の午後、関東地方は日中の昇温と寒気を伴った気圧の谷の通過により、埼玉県を中心に急激に積乱雲が発達した。この積乱雲により埼玉県所沢市で竜巻とみられる突風が発生し、屋根瓦が飛ばされる等の被害が発生した。所沢市消防本部によれば、15時41分に最大瞬間風速26.1メートルが観測され、竜巻が目撃された。

画像はちょうど竜巻の発生した頃観測された赤外画像及び可視画像である。矢印で示す所沢市付近の積乱雲は、赤外画像では白く輝き、雲頂高度が約1万3000メートルで圏界面に達しているとみられ、顕著な「かなとこ巻雲」が北東側に見える。さらに可視画像でも凸凹した雲域が広がっており、積乱雲が発達していることがわかる。

米国ではたびたび発達した積乱雲が竜巻を発生させ、甚大な被害をもたらすことは有名である。日本でも積乱雲による竜巻被害は決して珍しいものではない。このように発達した積乱雲が出現した時には突風にも注意が必要である。

(気象衛星センター)